

中軽井沢コテージと上田城 上質な時間での滞在

神山清英（東京都新宿区）

軽井沢で上質な2泊3日の滞在を楽しみました。宿泊所のメレーズ軽井沢は、コテージ形式で夏緑の中にありました。



梅雨が続く空模様でしたが、2日目の上田城跡公園への往復は夏空に恵まれました。今回は、ゴルフ同好会とのジョイントでしたので、20名を越える参加者でにぎやかそのものでした。夕食後に集まっての会話、朝食後の夏緑の庭を眺めながらのコーヒーなど楽しい時間をたっぷりと過ごしました。



宿泊施設メレーズ軽井沢は、千代田区の運営です。千代田区在住の西村美津代会員のご手配で、ご便宜を図っていただきました。大いに感謝いたします。

それぞれの方々は、趣味趣向などを生かして、自由で上質な時間を過ごされました。本年は、少々足を伸ばして上田城跡公園も訪れました。天下分け目の戦いの関ヶ原合戦の時代の真田幸村の活躍、二大將軍徳川秀忠の侵攻などなど、歴史に思いをはせました。

日時: 2019年7月9日(火)～11日(木)

宿泊費: 14,000円 **自己負担:** 交通費、入場料など

最寄り駅: しなの鉄道 中軽井沢駅

参加: 21名(第1日) 18名(第2日)

神山清英、西村美津代、五辻健次・節子、國分朋子・光洋、宝田正志、大湊雅子、河田孝子、三木恵子、青島岑郎、菊入美江子、飯田ちはひ、飯塚完子、佐藤裕子、山本浩二、村上有三、田辺年隆、磯崎晃、田代嘉宏、葭江芳夫

集合: 中軽井沢駅 当日午後1時

宿泊: メレーズ軽井沢(千代田区施設)

リーダー: 神山清英 **サブ:** 西村美津代

日程: 第1日午前・午後 ゴルフ同好会のメンバー
太平洋クラブ軽井沢リゾートコース
第1日午後 中軽井沢ハルニレテラス散策、岩の教会見学、ホテルティータイム

第2日 上田城跡公園・旧街並み散策、池波正太郎記念館訪問、蕎麦料理賞味

第3日 南軽井沢発地市庭ショッピング、旧軽散策
3日間はすべて自由行動ですので、一部の紹介です。

グルメ

メレーズ軽井沢のお食事

この施設のお料理は、心のこもった手の込んだもので、豪華なデザートと合わせて提供されました。



軽井沢の地ビールや地ワイン、地元の日本酒などとよくコラボしていました。



心配りのあるお洒落なお料理で、白無地のお皿にいろいろな料理を少しづつ飾り盛りしてありました。目に楽しく、和風あり、洋風ありのバラエティいっぱいでした。飲み物も、牛乳・ジュース・コーヒー・日本茶と多彩でした。夕食でのステーキ、豚の角煮やエビフライなどなどあり、目に優しいだけでなく、おなかが十分幸せになりました。

軽井沢高原ビール、地元のスイートな白ワイン、そして地元の千曲錦酒造の日本酒がそろっていて、大いに楽しみました。



お料理の数々を写真でご紹介します。いずれも、美味であり眼福と口福の極みでした。柔らかか牛肉のサーロインステーキ、ネギみそソースかけ、お皿もシックです。晩食のとりどりの品、あれこれとあり洋食懐石のようです。沖目鯛の西京焼きも抜群でした。



夕食に、大エビフライもありました。この日は、牛肉の角煮も出ました。満足この上なしです。

デザートは4種、一口盛りで堪能しました。



信州そばで昼食3回

中軽井沢駅前の老舗「かぎもとや」の黒い蕎麦、上田城跡公園前の信州手打ちそば処「千本桜」の色白蕎麦と黒い蕎麦、そして極め付きは軽井沢駅ナカのおぎのやの立ち食い蕎麦でした。信州ならではのいろいろな蕎麦の楽しみを賞味しました。なかでも、千本桜のもり蕎麦のたっぷりの量には圧倒され、まさに、“盛り”蕎麦でした。たれは、甘目、ややからめなどいろいろで、信州といえば甘いたれという一辺倒ではないようです。いずれも、出しがよく効いたウマたれでした。蕎麦好きにはたまらない一時でした。



昼食の蕎麦を味わった千本桜のお店の隣が、観光会館でした。土地のお土産がたくさん、もちろん真田にちなんだものもたくさん、正面には立派な真田幸村の馬上姿の像が鎮座していました。ちなみに、この観光会館の2階は上田市の行政の観光課と商工課がありました。

ゴルフ同好会



14名(内1名非会員)が参加しました。霧を物ともせず、勇敢にショットをして各自がそれぞれ満足できるスコアを出しました。

霧しぐれあさまを見ぬ日ぞ面白き

詳細が別項に掲載されています。

軽井沢

メレーズ軽井沢から徒歩15分の霧雨の中、ホテルブレストンコートでのティータイムを楽しみました。

ホテルブレストンコート

星野リゾートの経営で、外国の家族連れ観光客を多く見かけました。隣接するのが結婚式場の軽井沢高原教会で、花嫁姿やそのご家族らしい方々が入り出されて華やかでした。



ハルニレテラス

ショッピング、食事、お茶と観光の施設です。散策路に沿って流れる川は、折からの雨で水嵩が豊かで岸辺を洗う音が森林浴の伴奏になっていました。また、雨傘をあしらったディスプレイもおしゃれでした。昔の映画「シェルブールの雨傘」を思い出しました。

石の教会・内村鑑三資料展示室

自然に融け込む石造りの教会で、内村鑑三の無教会思想と建築家ケンドリック・ケロッグの考えとが融合したものだそうです。祭壇や十字架がない空間は、誓いと向き合う場です。



教会の椅子に座り、見上げる丸窓からの木々の緑の向こうにある天国に思いをはせ、静かな冥想の時間を過ごしました。過去から積み重ねられた時間を迎える空間に身を置き、これからの様々な出会いも考えました。岩の教会内部は、撮影禁止でした。

アプローチの前室に内村鑑三の業績を紹介する写真展示がありました。親交のあった方々、鑑三のお弟子さんの面々、いずれも個性豊かな方々ばかり、感心することひとしきりでした。



北原白秋文学碑



ハルニレテラスへの散策路の入り口付近の、カラマツに囲まれた四行八連の絶唱「落葉松」の大石の詩碑です。

旧軽井沢

シーズンには早く、観光客はチラホラでした。両側のお店は食事処、土産物など多士済々で、観光客到来を手ぐすね引いて待っている雰囲気でした。

軽井沢観光会館

旧軽井沢商店街の中ほどのレトロ風の建物で、旧軽井沢のシンボルです。2階の展示室が圧巻で、碓井峠越えのアプト式機関車の歴史的写真と鉄道模型、そしてジオラマがありました。急こう配を克服するためのアプト式鉄道を成功に導く建設の熱意と裏付けとなる技術の開発の様子がひしひ



しと伝わってきました。まさに、明治の人たちが総力を挙げて、日本を欧米並みの一流国に近づける証でした。ラックレール 30cm の展示があり、歯車のかみ合いの力強さに感心しました。

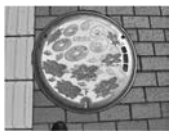
上田城跡公園

上田市は、軽井沢からしなの鉄道に乗って 40 分の距離でした。街並みは豊かな雰囲気を醸し出していました。おしゃれな店があり、昔風の書店が散見され、また万年筆専門店がありと、この地域の文化教養に対する並々ならぬ心意気を見せていました。



上田市内は、当日はあいにく一斉休業日でした。それだけに、たたずまいが静かで落ち着いている雰囲気を味わいました。街なかを歩いて真田十勇士に会いに行こうという、ウォーキングマップもありました。街おこしへの取り込みを知りました。

上田市内のあちこちに真田の六文銭の印である丸六



つのマークが、のぼり旗やお店の看板などを飾っていました。六文銭の由来の街中の案内や、足元にデザインされたマンホールがありました。

上田城跡公園散策

ご存じ真田幸村親子で有名なお城でした。上田駅お城口前からコミュニティバスで 5 分 100 円料金で到着しました。真田幸村の父の真田昌幸によって築城され、上田合戦で徳川秀忠軍を撃退した難攻不落の城です。日本百名城 27 番・日本夜景遺産に認定されています。



上田駅のお城口側から、赤いコミュニティバスが発します。市内をぐるりと巡り、ほどなく二の丸通りの大手門に到着します。



上田城跡公園には、内堀にかけられた橋を渡り大手門から中に入ります。橋の上の大きな丸型の植え込み



の赤い花が、まず目に飛び込みました。丸は六文銭、赤は真田の赤備えを意図したのでしょうか。大手門の内側の魯は、格調高いものでした。

真田石

大手門入り口に鎮座します巨石、真田石は威風堂々としていました。説明不要です。



真田神社

歴代の上田城主（真田氏・仙石氏・松平氏）を御祭神として、上田城本丸跡に鎮座しています。戦国時代を生き抜いた真田昌幸・信之・信繁（幸村）の知恵や勝運にあやかろうと、御守護符や合格祈願のお守りの人気スポットです。



神社の前の真田兜のモニュメントは、六文銭の金色と赤の色がド派手でした。

絵馬を飾る回廊

真田城は落城しなかったため、受験生にはありがたい「落ちない」との縁起の絵馬がズラリ。



抜け道の真田井戸

合戦の際のいざという時の抜け道だそうです。覆いのなかを覗くと水面から反射する光が見え、水を湛えた普通の井戸に見えました。



伊勢神宮の遥拝所とその方角の山並み

足元にある板石に刻まれた案内に、伊勢神宮の方角と距離が示してありました。ここより 256 km だそうです。その方角に目を向けると、信州の緑豊かな山並みを遠望することができました。



上田城跡公園の散策

内堀に沿って一巡りしました。市民へのいろいろな施設があり、城跡の活用の様子を拝見しました。この公園内に



も赤ののぼり旗が要所要所にあり、六文銭の印がはためいていました。

上田市街

北国街道

上田市はもともとは築城と共に造られた城下町で、江戸期には中山道と日本海を結ぶ北国街道の宿場町として大いに栄えました。明治期には、養蚕が盛んになり 25 軒もの呉服間屋が並んでいたそうです。北国街道の古き街並みが、柳町に景観保存地区として残っていて、大いに楽しみました。



保命水

街なみ散策で四つ角を曲がると、ソバ屋がありその傍らに保命水の石碑がありました。がっしりした四角の石桶から水が豊かにあふれていました。ソバ屋のおやじの解説では、やや遠くの水源から水を引いてきているそうです。一口含んでみると、柔らかい味わいの水でした。

池波正太郎『真田太平記』記念館

残念ながら本日水曜日は、休館日でした。入口前のベンチでしばしの休憩をとりながら、真田太平記や池波正太郎を話題にしたの談論風発でした。ちなみに、上田市内のお店は、水曜日が一斉休業日でした。



コーヒーとみずず飴本舗

訪れた水曜日は、上田市内の店舗が一斉休業日でしたが、上田駅近くに自然食品のお店があり、コーヒーなどをゆっくりと楽しみました。ワールドステイクラブラしい、上質な会話で上品な時を過ごし、クオリティタイムを味わいました。

このコーヒー店の近くには、昔懐かしいおなじみのみずず飴本舗飯島商店がありました。モルタルを石造り様に壁に塗り、まさに大正モダニズムの由緒ある外観でした。養蚕業が日本の中核産業であり、この地が栄えた頃の面影を十分残



していました。中を覗くとスイーツの小ケースが見えました。みずず飴はもちろん、ジャムやゼリーなどがおいしそうにやらんでいました。文化庁からの登録有形文化財のプレートは、入り口左側に掲げてありました。

南軽井沢

発地市庭 (ほっちいちば)

大規模なそしてお洒落な地元の新鮮野菜のマーケットでした。朝どれのキャベツ、みずみずしい葉物などなど、そして土地の名産のブルーベリーも置いてありました。道の向かい側には、広々としたファームがあり、これが柳澤農園です。ここでは、自分で摘み取った野菜をその場でサラダとして賞味できるレストランを併設していました。



旅の感想

大湊雅子 (千葉県松戸市)



軽井沢へはたびたび出かけていましたが、静かな軽井沢ははじめてでした。石の教会は常に結婚式や混雑でしたが、今回は壮大な不思議な内部をゆっくりとながめて、柔らかな心に響く音聞き清らかな気持ちをいただきました。次の日も出かけ、またまたその素晴らしい気持ちをいただきました。旧軽井沢は、いつも人の頭だらけでした。今回の旅では、旧軽井沢の銀座通りが先まで見渡せ、いつも混雑していた店にも寄り道ができ、軽井沢万平ホテルでみごとなフレンチトーストを味わってきました。楽しい時間をありがとうございました。

宝田正志 (静岡県静岡市)

今年もまた楽しかったです。プレストンコートでの Luxury tea time、ハルニテラスでのスナック、素敵な思い出になりますね。今回は、浅野屋ベーカリーは開いていて、たっぷり買い込んで帰りました。旧軽の例のテニスコートから霧雨の中を、万平ホテルまで歩いて散策、来年はここでランチをしたいですね。



山本浩二 (千葉県浦安市)



北国街道がとても良かったです。上田の住宅街の細い道を右に曲がった途端に、遠い昔の世界が広がっていました。鯨背な初老の男性が水を打ちながら、「ここは蕎麦屋ですよ」と私達に告げたので、ふと屋根を見ると大きな看板がありその蕎麦屋の主人のような裸の男が描かれていて「与三郎発芽そば喰らう」と。みごとな看板で恐れ入りました。子供の頃住んでいた木更津の「お富・与三郎」の有名な話を春日八郎の歌とともに思い出し、感慨に浸りました。ゆったりとした上田の町や、ひんやりとして静かな「メレーズ軽井沢」の庭を散策すると、東京での日常の忙しさを忘れられ心が洗われる思いです。リフレッシュできて良かったです。



葭江芳夫 (東京都豊島区)



宿泊するメレーズ軽井沢は、千代田区の施設ですがお役所の四角四面の運営ではなくいろいろと便宜を図ってくれました。特に2日目・3日目に施設から中軽井沢駅まで数度にわたり全員を送迎していただいたこと、しかもあの混雑で有名な道路を避けて裏道を熟知してわずか5分程度で到着して感激しました。

この夕食は手の込んだもので、ステーキ、豚の角煮やエビフライなどがあり、くるみパンも美味でしかもお替りOKです。飲み物は、軽井沢高原ビール、地元のスイートな白ワイン、これも地元の千曲錦酒造の日本酒がそろってました。どれもが値段が安く大いに堪能しました。



さて部屋はといえば、8人宿泊できる「こもれび」に案内されました。そこに男性が7人泊まったのですが、全員ゴルフをプレーした人を集めてくれました。僕にとっても久しぶりの合宿気分です。20数年前、勤務する会社でいわゆる「たそがれ研修」と呼ばれていた定年が近くなった社員が受ける合宿研修があったのですが、それ以来です。その時と一緒にみんな早寝・早起きでワイワイと“じいさんたち”は賑やかで楽しかったです。

村上有三 (東京都文京区)



ゴルフ同好会がリニューアルされて、今回は記念となるゴルフ会となりました。参加者14名で4組が組まれました。伊夫仗さんのご紹介のコースで、太平洋クラブでも屈指の軽井沢リゾートコースです。当日は霧と雨で、皆さん満足のできるスコアではなかったと思いますが18ホールを頑張りました。晴れた日にリゾートゴルフを楽しみたいとの感想が多く、来年もできれば参加したいとの声が多くありました。同好会としては年に3~4回実施予定とのことで、楽しみにしています。

2日目は、石の教会などを訪ね、トンボの湯にゆっくり入り、旧軽井沢歩きをして帰りました。大きくぬるめの露天風呂にゆったり浸かり、命の洗濯をしました。来年も参加し皆さんと過ごしたいと思います。

田辺年隆 (千葉県船橋市)



軽井沢でのゴルフは、昨年5月ゴルフ同好会で伊夫仗さんに誘われて、今回と同じ太平洋クラブ軽井沢リゾート一泊2プレーを経験済みでした。その折は雨と雪に悩まされました。今回は霧雨の中のプレーですが、無事終えることができました。なんだか天候に恵まれてないようですが、またチャレンジしたいコースと思います。



2日目の上田城趾他の観光では、当時の様子を残そうとする努力をされていることがよく分かる街並みで、以前にも数回当地に来ていましたが改めて某放送局の番組の影響を感じました。散策するには、ちょうど良い規模の街だと思います。宿の Cottage は、ゆったりしていて料理も程よい量とお味で、お得感の料金でした。是非継続していただき、また参加したいと思いました。

國分光洋 (東京杉並区)

軽井沢逍遥の旅でした。夏の軽井沢は歴史ある避暑地として人気があるので、7月の旧軽井沢の銀座通りは、たいへんなにぎわいを見せています。



軽井沢の「碓氷峠鉄道文化むら」には、峠の鉄道敷設の記録写真が展示されています。必見に値します。また、中軽井沢の新たにオープンした農産物直売の「発地市庭」は、新鮮な野菜が直売価格で売られているので手に持てないほどたくさん買い込み、車で運んでいる夫婦を見ました。

目を用じて 石の教会 端座する

喧噪を離れ、内村鑑三記念堂の石の教会を訪ねました。長椅子に座して静かに目を閉じ瞑想することで、とても清々しい気分になりました。